

2021 年度日本海洋学会春季評議員会議事録

日時:2021 年 5 月 14 日(金)15:00~17:00

場所:Zoom を利用したオンライン開催

出席者:神田会長、伊藤副会長、相木、青木、井桁、石井、石坂、市川、上野、梅澤、江淵、大島、岡(英)、小川、乙坂、小畑、川合(美)、川合(義)、河宮、北出、轡田、久保川、小松、根田、齊藤、須賀、宗林、高橋、津田、東塚、中村、西岡、羽角、原田、日比谷、広瀬、升本、道田、森本、安田(一)、安田(珠)、安中、吉川 各評議員(43 名)

岩本 JOS ニュースレター編集委員長、帰山広報委員長、蒲生前三賞選考委員長、多田沿岸海洋研究会会長、田所海洋生物学研究会会長、中野(俊)西南支部支部長、福田前環境科学賞選考委員長、茂木ブレイクスルー研究会会長、吉田海の研究編集委員長、岡(颯)幹事、土井幹事、中野(英)幹事、西部幹事、野口幹事、三角幹事、毎日学術フォーラム(平坂)

委任状:磯辺、植原、植松、大島、小埜、鈴木、武田、千葉、張、林、本多 各評議員(11 名)

開会に先立ち、三角集会担当幹事より、出席者 43 名、委任状 11 通で評議員会細則第 3 条の規定による評議員会の成立要件を満たしている旨報告があった。

議題

1. 会長挨拶(神田会長)

評議員会開催に先立ち、神田会長より挨拶があった。

2021~2022 年度、引き続き、会長を務めることになったことが報告され、学会の確実な運営に尽力する旨述べられた。2020 年 10 月 21 日に、海洋立国推進功労者表彰があり、花輪公雄会員、川幡穂高会員がそれぞれ表彰を受けたことが報告され、祝意が示された。2021 年 3 月 10 日に平啓介名誉会員が逝去されたことが報告され、黙祷が行われた。2020 年度秋季大会は、幹事会が中心となりオンラインで開催されたことが報告された。2021 年度秋季大会は東京大学大気海洋研究所所属の会員が中心となり、80 周年記念大会として開催されることが報告され、大会関係者に感謝の意が示された。将来構想委員会の下に設置した、研究に関する将来構想ワーキンググループの中で、将来構想がとりまとめられていることが報告された。とりまとめにおいて中心的な役割を果たしてきた、岡英太郎会員、高橋一生会員、西岡純会員をはじめ、ワーキンググループの関係者に感謝の意が示された。日本海洋学会の法人化に向けて案をつくり議論を進めていく方針であることが述べられた。会員数減少への対応として、若手のリクルートを促すとともに、リタイヤするシニア会員にも留まってもらえるような方策を、幹事会を中心に検討していく方針であることが述べられた。日本学術会議で策定している学術の大型研究計画に関するマスタープランについて、学会としての対応方針が述べられた。

2. 報告事項

1) 会務報告

庶務(乙坂幹事)

会員の異動状況について報告された。

編集

① JO(江淵編集委員長)

JO Vol. 75(1)から Vol. 77(3)までの発行状況について報告された。また、2012年から2021年4月までの論文の投稿・受理状況について報告された。

現在投稿を受け付けている特別セクションについて報告された。

② 海の研究(吉田編集委員長)

2021年度の活動方針について述べられた。

2020年度は、第29巻3-6号、第30巻1,2号を発行したことが報告された。2021年度は、第30巻3-6号、第31巻1,2号を発行する予定であることが報告された。

掲載論文のオンライン公開状況について報告された。

③ JOS ニュースレター(岩本編集委員長)

2020年度は第10巻1-4号を発行したことが報告された。2021年度は年4回の発行を行うこと、日本海洋学会80周年特集号を発行予定であることが報告された。

研究発表(土井幹事)

2020年度秋季大会が2020年11月27日～29日の日程で、オンラインで開催されたことが報告された。

2021年度春季大会は5月30日～6月6日の日程でJpGU2021の中で、オンラインで実施されることが報告された。

2021年度秋季大会は9月13日～17日の日程で、オンラインを基本とし、一部現地開催(東京大学柏キャンパス)を併用するハイブリッド開催で実施される予定であることが報告された。また、秋季大会は80周年記念大会として行われ、記念シンポジウムが開催されることが報告された。

賞選考

① 学会賞・岡田賞・宇田賞(蒲生前委員長)

選考状況について報告された。

② 日高論文賞・奨励論文賞(齋藤前委員長)

選考状況について報告された。

③ 環境科学賞(福田前委員長)

選考状況について報告された。

選挙管理(安田幹事)

役員選挙、幹事選挙、各賞可否投票および賞選考委員選挙の結果について報告された。

広報委員会(帰山委員長)

海の出前授業について、2020年度の実績、2021年度の計画について報告された。

Web サイト・サーバの管理状況、JpGU でのブース展示、2021年度秋季大会における企画の検討状況について報告された。

海洋環境委員会(梅澤委員長)

2020年度に採択された青い海助成事業について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により予定していた事業内容の実施が困難となったため、事業内容を一部変更し、2021年度末まで実施期間を延長することが報告された。

2021年度の青い海助成事業の一般提案型の応募・採択状況について報告された。また、緊急提案型の募集予定について報告された。

海洋観測ガイドライン編集委員会(乙坂委員長)

2020年度の活動状況および、2021年度の活動計画について報告された。

西南支部(広瀬支部長代理)

2020年度の事業内容について報告された。

2020年度の役員および2021年度の役員について報告された。

海洋環境問題研究会(梅澤研究会会長)

2020年度の事業報告および2021年度の活動計画について報告された。

沿岸海洋研究会(多田研究会会長)

沿岸海洋研究会で発行している「沿岸海洋研究」について、新たな取り組みの内容について報告された。

海洋生物学研究会(田所研究会会長)

2021年1月18日に下出信次会員(横浜国立大学)が副会長に選出されたことが報告された。

「海洋生物シンポジウム2021」が2021年3月20日にオンラインで実施されたことが報告された。

教育問題研究会(須賀研究会会長)

2020年度の活動報告および2021年度の活動計画について報告された。

ブレイクスルー研究会(茂木研究会会長)

ブレイクスルー研究会のYouTubeチャンネルが開設されたことが報告された。

研究に関する将来構想ワーキンググループ(高橋幹事)

研究に関する将来構想ワーキンググループで取りまとめを行っている総説「海洋学の10年展望2021」の進捗状況および今後の予定について報告された。

日本海洋学会80周年記念事業(乙坂幹事)

80周年記念事業にむけた準備状況、スケジュールについて報告された。

2) 学界関連報告

学界動向(伊藤副会長)

学界関連の動向について報告された。詳細についてはJOSニューズレターに掲載される。

日本地球惑星科学連合(三角幹事)

JpGUの動きおよび、JpGU2021の開催日程、方式、セッション情報について報告された。

水産・海洋科学研究連絡協議会(伊藤副会長)

Frontiers in Marine ScienceにおけるIMBeRに関連する特集号の題名に不適切な海の呼称が使われていた問題とその対応について報告された。

3. 審議事項

1) 海洋環境問題研究会会長候補者の承認について(梅澤研究会会長)

海洋環境問題研究会会長候補者について提案され、原案の通り承認された。

2) 賞選考委員委嘱について(神田会長)

三賞選考委員の追加委嘱について提案され、原案の通り承認された。

論文賞選考委員の追加委嘱について提案され、原案の通り承認された。

3) 受賞記念講演座長について(乙坂幹事)

受賞記念講演座長について提案され、原案の通り承認された。

4) 2020年度事業報告並びに決算報告について(乙坂幹事・西部幹事)

2020年度事業報告並びに決算報告について報告され、原案の通り承認された。

5) 2020 年度監査報告について(宗林監査)

2020 年度監査報告について報告され、原案の通り承認された。

6) 2021 年度事業計画並びに予算案について(乙坂幹事・西部幹事)

2021 年度事業計画並びに予算案について報告され、一部修正の上、承認された。

7) 2021 年度通常総会議事次第案について(乙坂幹事)

2021 年度通常総会議事次第案について提案され、原案の通り承認された。

8) 処理水海洋放出について(神田会長)

処理水の海洋放出への日本海洋学会の対応について提案され、原案の通り承認された。

9) 沿岸海洋研究会の会則変更について(多田研究会会長)

沿岸海洋研究会の会則変更について提案され、原案の通り承認された。

以上